

- 問1 ある藩の記録によると、1771年にロシア船が来航した際には薪や食料を与えて対応していましたが、1829年にイギリス船が現れた際には、鐘や太鼓を鳴らして警備を固め、予告なしの砲撃で威嚇して追い払うという対応の変化が見られました。このように、18世紀後半と19世紀前半で幕府や諸藩の対応が大きく変わった背景にある法令は何ですか。 （2019年 徳島県公立入試 類似）
1. 薪水給与令 2. 異国船打払令 3. 禁中並公家諸法度 4. 武家諸法度
- 問2 日本の歴史における時代区分について、織田信長や豊臣秀吉による天下統一の動きから、徳川氏による江戸幕府の統治が終わるまでの時代を指す用語として、最も適切なものはどれですか。 （2018年 岡山県公立入試 類似）
1. 近世 2. 近代 3. 古代 4. 中世
- 問3 江戸時代の大阪は、全国から多くの物資が集まる流通の中心地として「天下の台所」と呼ばれました。1700年代初頭の統計によれば、大阪へ運び込まれた商品のうち、菜種や材木、肥料用の干鰯（ちいわし）などを抑えて、取引額が圧倒的に第1位であった品物は何ですか。 （2026年 愛知県公立入試 類似）
1. 米 2. 大豆 3. 生糸 4. 綿布
- 問4 徳川吉宗が「米将軍」と呼ばれる背景となった政策のうち、幕府の安定した収入を確保し、財政の基礎を固めるために実施された取り組みとして、その内容と目的が合致している説明はどれですか。 （2015年 千葉県公立入試 類似）
1. 商人たちの組織である株仲間を公式に認め、そこから運上金などの税を徴収することで、商業資本による財政再建を図った。 2. 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。 3. 長崎での貿易を制限することで金や銀の流出を抑え、国内の通貨流通量を調整することで物価の安定を図った。 4. 江戸に流入した農民を強制的に農村へ帰すことで、米の生産量を維持し、都市部の治安維持を図った。
- 問5 江戸時代の大阪は「天下の台所」と呼ばれ、堂島の米市場を描いた資料などからは、大量の米俵が運び込まれ、多くの人々が取引に集まる活気ある経済活動の様子がうかがえます。このような市場での流通を支配し、幕府から営業の独占を認められていた商人の組織を何と呼びますか。 （2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 専売制 2. 株仲間 3. 楽市・楽座 4. 座
- 問6 江戸時代に本居宣長が大成させた「国学」の目的や背景について述べた文として、正しいものを選んでください。 （2024年 高知県公立入試 類似）
1. 武士が政治を行う正当性を裏付けるために、朱子学に基づいた道徳観を全国に普及させた。 2. 欧米諸国の科学技術を取り入れることで、日本の近代化を推し進めることを最大の目的とした。 3. 身分制度を否定し、すべての国民が平等であるという民主主義的な思想を確立しようとした。 4. 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。
- 問7 18世紀後半、老中の地位に就き、それまでの農業に依存した財政から、商業の力を利用した財政への転換を図った人物は誰ですか。 （2019年 大阪府公立入試 類似）
1. 徳川吉宗 2. 松平定信 3. 田沼意次 4. 水野忠邦
- 問8 フランス革命以前のヨーロッパで見られた、国王が強大な権力を持ち、議会を無視して専制的に国を治めていた政治体制を何というか。 （2019年 島根県公立入試 類似）
1. 共和制 2. 直接民主制 3. 立憲君主制 4. 絶対王政
- 問9 ラクスマンが来航した際、ロシアでの長い滞在を経て日本に帰国し、その見聞が『北槎聞略』などの記録として残された、伊勢出身の漂流民は誰ですか。 （2018年 大阪府公立入試 類似）
1. ジョン万次郎 2. 津太夫 3. 音吉 4. 大黒屋光太夫
- 問10 江戸幕府は、身分秩序を重んじ主君への忠義を説く儒教の一派を、政治の安定を図るための「正学」として位置づけました。幕府の直轄機関である昌平坂学問所などで、武士に対して学ぶことを奨励したこの学問の名称を選びなさい。 （2021年 大阪府公立入試 類似）
1. 天文学 2. 蘭学 3. 国学 4. 朱子学
- 問11 江戸幕府の三代将軍である徳川家光が、武家諸法度を改正して定めた、大名に対して一年おきに江戸と自らの領地を往復させる制度を何といいますか。 （2023年 福島県公立入試 類似）
1. 御成敗式目 2. 検地 3. 参勤交代 4. 天下普請
- 問12 松平定信が「寛政の改革」を行った社会的な背景と、その目的について正しく説明しているものはどれですか。 （2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 株仲間を積極的に公認することで商業を活性化し、商人から徴収する税金によって幕府の財政を再建しようとした。 2. 西洋の学問を積極的に取り入れることで軍事力を強化し、外国船の来航に備えた海防を充実させようとした。 3. 天明の飢饉などによる社会の混乱を収めるため、武士の困窮を救い、農村の立て直しを図ることで幕府の権威を回復させようとした。 4. 長崎での貿易を制限し、銅などの輸出を減らすことで国内の金属流通量を確保し、物価を抑制しようとした。
- 問13 17世紀後半のイギリスで行われた名誉革命に際して、議会が国王に認めさせ、法律として制定された文書は何ですか。この文書によって、国王の権力は制限され、議会政治がより強固なものとなりました。 （2022年 岡山県公立入試 類似）
1. 権利の章典 2. マグナ・カルタ（大憲章） 3. 人権宣言 4. 独立宣言
- 問14 江戸時代後半の文化において、浮世絵の新しい境地として「風景画」を確立し、富士山を様々な場所や角度から描いた「富嶽三十六景」などの代表作を持つ人物は誰ですか。 （2018年 千葉県公立入試 類似）
1. 葛飾北斎 2. 歌川広重 3. 尾形光琳 4. 菱川師宣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 異国船打払令	18世紀後半（1771年など）の時点では、幕府は外国船に対して個別に柔軟な対応をとることもありましたが、イギリス船によるフェートン号事件などをきっかけに警戒感が強まり、1825年に「異国船打払令」を制定しました。この法令によって、地方の諸藩も外国船に対して「問答無用で砲撃する」という厳しい対応を義務付けられるようになりました。記述にある徳島藩の対応の変化は、まさにこの法令の影響を直接受けたものといえます。
問2	答え 1 近世	日本の歴史において、安土桃山時代と江戸時代を合わせた期間は「近世」と呼ばれます。これは鎌倉時代や室町時代などの「中世」と、明治維新以降の「近代」の間に位置づけられる時代区分です。強力な中央政権によって全国的な支配体系が整えられたことが特徴です。
問3	答え 1 米	江戸時代、全国の諸藩は年貢として徴収した米を換金するため、大阪に「蔵屋敷」を置いて運び込みました。当時の大阪は、米のほかにも各地の特産品が集まる物流の要衝であったことから「天下の台所」と称され、特に米の取引価格は全国の基準となっていました。
問4	答え 2 幕府が直接主導するだけでなく、町人の資本を利用した新田開発を奨励することで、年貢収入の増加を図った。	享保の改革では、幕府の財源である年貢を増やすために耕作地の拡大が不可欠でした。そこで、民間の資金や技術を活用する「町人請負新田」などを認めることで、大規模な新田開発を推進しました。また、年貢率を固定する「定免法」の採用や、米の価格を安定させるための市場調整など、米を中心とした経済体制の強化に努めたことが吉宗の通称の由来となっています。他の選択肢は田沼意次や水野忠邦による政策の内容です。
問5	答え 2 株仲間	江戸時代に幕府や藩から公認された商人の同業者組織を「株仲間」と呼びます。彼らは「株」を持つメンバーだけで営業を独占し、自由な商売を制限する代わりに、幕府に税を納めました。大阪の堂島米市場などの大規模な物流拠点においても、これらの組織が重要な役割を果たし、経済を動かしていました。
問6	答え 4 仏教や儒教などの外来思想が伝来する前の、日本古来の考え方や精神を明らかにしようとした。	国学は、当時の日本で重視されていた儒教（中国の思想）や仏教（インド由来の宗教）といった外来の教えではなく、日本独自の古典（『古事記』『万葉集』『源氏物語』など）を研究対象としました。本居宣長は、そうした文献を通じて、外来の思想に染まる前の日本人のありのままの心や精神を究明しようとした。この思想は、のちに尊王攘夷運動など幕末の政治運動にも影響を与えることとなります。
問7	答え 3 田沼意次	10代将軍徳川家治の時代に実権を握り、商工業者が結成した株仲間を積極的に公認して税を徴収しました。また、長崎貿易を拡大して倭物などの輸出を増やし、金銀の流出を防ぐとともに幕府の財政再建を目指しました。
問8	答え 4 絶対王政	17世紀から18世紀のヨーロッパで見られた、国王の権力が絶対的であるとする体制を指します。フランスでは、この体制下での深刻な財政難や身分間の著しい格差が市民の不満を招き、絶対王政の打破を目指す市民革命が引き起こされる要因となりました。
問9	答え 4 大黒屋光太夫	大黒屋光太夫は、嵐で遭難してロシアに漂着し、約10年にわたってシベリアやサンクトペテルブルクに滞在しました。ロシア女帝エカチェリーナ2世に謁見して帰国を請願し、ラクスマンの船で日本に帰ることができました。帰国後、彼のロシアでの見聞は蘭学者の桂川甫周によって記録され、当時の知識人に大きな影響を与えました。
問10	答え 4 朱子学	江戸幕府は、君臣の上下関係を明確にする教えが幕藩体制の維持に都合が良いと考え、この学問を公式の学問として採用しました。特に寛政の改革では、昌平坂学問所においてこれ以外の学問を禁じる「寛政異学の禁」が出されるなど、武士の必須教養として確立されました。
問11	答え 3 参勤交代	徳川家光は1635年に武家諸法度を改正し、それまで慣習的に行われていた江戸への出仕を「参勤交代」として制度化しました。これにより、大名は一年おきに江戸に滞在し、それ以外の期間は自分の領地で政務を行うことが義務付けられました。
問12	答え 3 天明の飢饉などによる社会の混乱を収めるため、武士の困窮を救い、農村の立て直しを図ることで幕府の権威を回復させようとした。	18世紀後半は天明の飢饉などにより農村が荒廃し、都市部でも打ちこわしが頻発していました。松平定信は、田沼意次が進めた商業重視の政策を改めて農本主義を徹底し、旧里帰農令による農村復興や棄捐令による武士の救済を通じて、幕藩体制の維持と強化を試みました。
問13	答え 1 権利の章典	名誉革命の際に議会が提出した「権利の宣言」を、翌1689年に法律として承認させたものです。国王が議会の同意なしに法律を停止することや、課税を行うことを禁止しました。これにより「国王は君臨すれども統治せず」という立憲君主制の原則が確立され、のちにイギリスが19世紀半ばに世界初の万国博覧会を開催できるほどの国家的な安定を築く基盤となりました。
問14	答え 1 葛飾北斎	化政文化期に活躍した浮世絵師で、それまでの美人画や役者絵が中心だった浮世絵に、本格的な風景画というジャンルを定着させました。斬新な構図や色彩感覚は、のちに19世紀末のヨーロッパの芸術家たちにも大きな影響を与えたことで知られています。